

地域密着型金融の取組み状況について

(平成 21 年 4 月～平成 22 年 3 月)

平成 22 年 7 月
しまなみ信用金庫

1. 地域密着型金融の取組み概況について

当金庫は、協同組織金融機関としての使命である「地域経済発展への貢献」及び「地域の中小企業発展への寄与」に向けて、「地域密着型金融推進の基本方針」に沿って積極的に取り組んでまいりました。

そうした中、平成 21 年度は地域経済の活性化に向けて、県立広島大学との包括協定による「産学連携講座」の開催や「広島県下 4 信用金庫合同ビジネスフェア」、若手経営者の育成を目的とした「しまなみ信金躍礎塾」などを行い、お取引先企業の活性化に繋がる取組みを継続実施しました。

今般、平成 21 年度に取り組みました地域密着型金融の進捗状況を取りまとめましたので、お知らせ致します。

今後もさらなる「地域密着型金融の推進」に向けて、地域の皆様の多様なニーズに的確に対応するとともに、地域経済の発展・活性化に向けて取り組んでまいります。

2. 具体的な取組み内容について

(1) ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

● ビジネスマッチング支援

平成 21 年 9 月 15 日、広島県立ふくやま産業交流館（ビックローズ）にて業種別ミニビジネスフェア「工業製品関連商談会」を開催しました。当庫からは 9 社が出展いただきました。

平成 21 年 11 月 4 日～5 日、東京ビックサイトにて「東京ビジネスサミット」に当庫から 1 社が出展いただきました。

平成 21 年 11 月 17 日、広島県立広島産業会館にて、県下 4 信金合同ビジネスフェアを開催しました。当庫からは 35 社が出展いただき、31 件の商談が成立しました。

● 経営改善支援

本部所属の経営支援担当者を中心に、お取引先の資金繰りや経営改善に向けた支援業務を実施しました。

- 事業承継

平成 19 年 9 月、広島県下 4 信金による「M & A 仲介業務に関する協定書」を締結し、以後定期的な情報交換を行なっています。平成 21 年度は情報交換会や M & A セミナーを開催いたしました。

また、高速道路の料金割引により苦境に陥っていた生活指定航路の存続に向けた支援を行いました。航路廃止日から途切れることなく新会社へ運航が継続され、地元の住民をはじめ、地元経済より新会社へ向けて励ましや感謝の言葉が寄せられました。

(2) 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

- シンジケートローンの活用

中小企業の資金調達手段の多様化への対応として、シンジケートローンへの取組みを強化しました。平成 21 年度は、3 先、8 億円のシンジケートローンに融資団として参画しました。

- 担保・保証に過度に依存しない融資等への取組み

信金中金との提携による「しんきん M E サポート」やオリックスと提携した事業者用オートローンの取扱により、担保・保証に過度に依存しない融資への取組みを行いました。平成 21 年度の実績は、3 件 21,700 千円となりました。

- 目利き能力の向上に向けた取組み

目利きの能力の向上に向けて、下記講座への職員の派遣を実施しました。

- ・ 中国地区信用金庫協会主催 「目利き能力養成講座」職員 2 名派遣

また中小企業診断士の取得に向けて、職員 2 名を専門学校へ派遣し、資格取得に向けてのサポートを行ないました。

(3) 地域の情報集積を活用した持続的可能な地域経済への貢献

- 地域を担う若い世代への金融知識の普及

お取引先の後継者を中心に、若手経営者の成長を支援し、企業の発展及び地域社会の発展に貢献することを目的に、「しまなみ信金躍礎塾」を開催しました。地元経営者による講演や経営戦略の立案、財務知識の習得等について講義を行いました。

- 産学連携

当庫と県立広島大学がそれぞれ保有する情報・ノウハウ等の機能を用いて、緊密・組織的な連携・協力体制をとることにより、地域企業の活性化及び地域社会の発展に寄与することを目的に開催しました。

平成 21 年度は「商店街を活性化して尾道のまちを元気にしよう」に関するテーマで、

年 5 回開催しました。

●インターンシップの受け入れ

地元の大学からインターンシップの受け入れを積極的に行い、3 校、6 名の方に金融業務への職場体験の場を提供しました。

●大学への講師派遣

若い世代への金融知識の普及に向けて、県立広島大学へ職員 2 名を講師として派遣しました。

3. 経営改善支援の取り組み実績

経営改善取り組み実績（正常先除く）

（単位：先数）

期初 債務者数 A	うち				経営改善 支援取組 み率 a/A	ランクアッ プ率 b/a	再生計画 策定率 d/a
	経営改善 支援取組 み先数 a	aのうち期 末に債務 者区分が ランクアッ プした先数 b	bのうち期 末に債務 者区分が 変化しな かった先 数 c	cのうち再 生計画を 策定した先 数 d			
1,108	4	0	4	4	0.4%	0.0%	100.0%

注）・期初債務者数及び債務者区分は 21 年 4 月当初時点のものです。

- ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業（個人事業主を含む）であり、個人ローン、住宅ローンのみの先は含んでいません。
- ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含んでいません。
- ・「再生計画を策定した先数」＝「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」＋「RCC の支援決定先」＋「金融機関独自の再生計画策定先」

以 上